

今村総合病院

●診療科

救急科・外科・消化器内科
 内科・血液内科・腎臓内科
 人工透析内科・消化器内科
 糖尿病内科・呼吸器内科
 脳神経内科・循環器内科
 放射線科
 泌尿器科（人工透析）
 皮膚科・眼科・耳鼻咽喉科
 気管食道科・耳鼻咽喉科
 病理診断科・脳神経外科
 麻酔科・ペインクリニック内科・リハビリテーション科・精神科・整形外科
 小児科・産科・婦人科・歯科口腔外科・腫瘍内科・感染症内科・肝臓内科



病院の特徴

今村総合病院は24時間365日体制の救急医療・脳卒中診療と各診療科による専門医療を通して地域に密着した医療の提供を行っております。また感染症を含む大規模自然災害等に影響されない取り組みを確立し、患者さん・職員・地域の皆さんの安全確保に努めています。今後は時代の変化に対してスピード感をもって的確に対応することで「有事に遭遇してもびくともしない組織」を目指している病院です。



病棟名	A棟東側		A棟西側		BC棟		
	診療科	病床数	診療科	病床数	診療科	病床数	
8階	血液内科 クリーンルーム	22床	血液内科	38床	透析センター	72床	
7階	混合 消化器内科 泌尿器科	42床	スポーツ整形外科・腎臓内科・口腔外科・耳鼻科・眼科	60床			
6階	外科系混合 消化器内科 泌尿器科	42床	内科系混合 消化器内科 皮膚科・放射線科	42床	精神科	48床	
5階	総合内科 循環器内科	44床	脳卒中センター SCU	35床 9床	産科 婦人科外来 産婦人科産科	レディス病棟 産科病棟	28床
3階	ICU	10床	手術室 セントラル サブライゼンター	6室	リハビリテーション科	50床	

病床数 428 床

看護部長からのメッセージ

看護部の理念は「相手の心に届く慈愛の看護」の実践です。「今村総合病院にきてよかった」、「あなたがいたからこそへきました」と言って頂けるように、日々看護に取り組んでいます。病気だけを看るのではなく、患者さんの価値観を尊重し、その人らしい生活できるように、全力でサポートしていきます。

今村総合病院は看護師特定行為研修機関です！

今村総合病院は、2019年に厚生労働省「特定行為に係る看護師の研修制度」の研修機関として指定を受け、下記の特定行為区分の研修を行っています。
 地域医療及び高度医療の現場においてフィジカルアセスメントと実践力が高く医療チームから信頼される自律した特定行為の実践看護師を育成しています。詳細は今村総合病院のホームページをご確認ください。



谷山病院

●診療科

精神科
神経科



病院の特徴

谷山病院は昭和28年に創設された精神科医療専門病院です。24時間365日地域精神科医療を提供しています。認知症医療へも力を入れ、認知症疾患医療センターでは、かかりつけ医や介護関連施設との連携を強め、認知症の人が地域で暮らし、家族と良い関係を維持できるように支援しています。さらに在宅移行や地域定着に向けて、病院と社会復帰施設とが連携して支援しています。またワークライフバランス活動にも取り組み、働きがいのある職場環境づくりを行っています。



病棟名	診療科	病床数	病棟名	診療科	病床数
A2	男女混合閉鎖病棟 結核病棟5床	47床	B4	女性閉鎖病棟	47床
A3	急性期治療病棟	40床	C4	認知症治療病棟	42床
B2	男性閉鎖病棟	50床	C5	精神科療養病棟	60床
B3	男女混合閉鎖病棟	46床	C6	精神科療養病棟	60床

病床数 392 床（結核病棟 5 床）



看護部長からのメッセージ

当院看護部は、精神科医療を必要としている人々の尊厳を大切に、「心に届く慈愛の看護」の理念のもと、看護師一人ひとりが職業人としてのモラルと責任を忘れず、患者様とご家族に優しさと思いやりの心で質の高い看護を提供しています。

いづろ今村病院

●診療科

内科（総合診療）・循環器内科・消化器内科・血液内科・糖尿病内科
 外科・消化器外科・大腸・肛門外科・婦人科・眼科・放射線科・緩和ケア内科・皮膚科・健康管理センター



病院の特徴

いづろ今村病院は、一般病棟、地域包括ケア病棟、緩和ケア病棟で構成されている在宅療養支援病院と疾病の早期発見及び早期治療につながる健康管理センターを有しています。一般病棟で急性期の治療を行い、急性期治療後の患者受け入れを地域包括ケア病棟で行います。急性期治療と在宅医療をつなぐ架け橋としての役割を担っています。訪問診療に看護師も同行し、在宅での患者さま・ご家族の状況を把握し看護師として支援できるように努めています。



病棟名	診療科	病床数
8階	緩和ケア	22床
7階	血液内科・消化器内科 糖尿病内科・外科・眼科	35床
5階	地域包括ケア病棟	58床
4階		

病床数 115 床

看護部長からのメッセージ

入院時から退院後の生活を見据え「治療の場」から「暮らしの場」へ移行できるように職責を超えたつながりがあるチーム医療とその人らしさを尊重し生活の質向上の支援に取り組んでいます。患者さん、ご家族が「この病院にきて良かった」と思ってもらえるように心と心をつなぐ看護を提供していきます。



介護老人保健施設 愛と結の街

施設の特徴



谷山地区南部の地域包括ケアの拠点として地域で住民を支える役割を持った地域に根ざした施設です。介護保険制度の下で運営されており、利用者の尊厳を守り、安全に配慮しながら、生活機能の維持・向上を目指し総合的に支援する施設です。
 同一敷地内に認知症対応型グループホーム、デイサービス、ヘルパーステーション、居宅支援センターがあり、家族や地域の人々・機関と協力し、安心して自立した在宅生活が続けられるように支援します。

病棟名	診療科	病床数
1階	通所リハビリテーション (デイケア)	—
2階	一般病棟	50床
3階	認知症専門棟	50床

病床数 100 床

看護部長からのメッセージ

老健施設・グループホーム・通所サービスなどがあり医療と福祉、施設と在宅をつなぐ利用者のあらゆる看護・介護ニーズに答え活躍できる場所です。また、ご利用者の望む暮らしの実現に向け多職種協働で個別的な自立支援を行っており働きやすさややりがいを感ずる職場です。



奄美病院

●診療科
精神科



病院の特徴

奄美の精神科中核病院として365日社会の様々なニーズに対応し、精神科医療を提供できるよう努めています。「時々入院いつもは地域の生活」を支援する為、慈愛奄美グループとして、指定障害福祉サービス事業所や相談支援事業所、デイケア、グループホーム、訪問看護ステーションがあり、医療保健福祉チームとして、精神科救急医療とリハビリ医療並びに在宅医療による組織的支援活動を展開しています。



病棟名	診療科	病床数	病棟名	診療科	病床数
1階北	急性期治療病棟	32床	3階西	男女混合 精神科 閉鎖病棟	57床
2階西	精神科 療養病棟	60床	4階西	認知症 治療病棟	60床
3階東	男女混合 精神科 閉鎖病棟	57床			
病床数合計 348床 (稼働数 266床)					



看護部長からのメッセージ



亜熱帯の豊かな自然に囲まれたあたたかな職場環境です。慈愛の心で寄り添い、その人らしきを支える看護を大切にしています。思い描いた看護師像に、一歩ずつ確実に成長し続けられるよう教育体制も充実しており、一人ひとりのキャリアアップをサポートしていきます。

徳之島病院



●診療科
精神科

病院の特徴

鹿児島県の最南端の精神科病院。南三島(徳之島・沖永良部島・与論島)で精神科医療を担う病院として日々励んでいます。徳島の巡回診療や訪問看護を行い、地域に根ざした病院として取り組んでいます。島内においては少ない医療資源の中で各医療機関それぞれにその役割を認識し、困ったことがあれば24時間お互いに協力し合う体制が整っています。これが徳之島病院の強みです。

病棟名	診療科	病床数
1 病棟	男女混合閉鎖病棟	69 床
3 病棟	男女混合閉鎖病棟	69 床
病床数 206 床 (稼働数 138 床)		



看護部長からのメッセージ



私たちは人権を尊重し、「その人らしき」を大切に温かく思いやりのある慈愛の看護を実践しています。安全で信頼される質の高い看護を提供し、地域と一体になりハンディキャップを抱えながらもより充実した生活ができるように支援しています。

笹貫訪問看護ステーション 愛の街



在宅支援部長からのメッセージ

看護職キャリア開発システムを運用し、訪問看護師としてのキャリアビジョンを描けるよう、訪問看護キャリア開発ラダーを導入し、地域で活躍できる訪問看護師の育成に力を入れています。また、令和6年度から新卒看護師の採用を開始する予定です。

事業所の特徴

在宅支援を含めた地域包括ケアシステムを基盤に更なる地域との連携強化を図り、24時間在宅でも安心して暮らせる訪問看護を実践しています。訪問看護ステーションが利用者とクリニック等を含めた地域事業所とのハブ機能を果たす役割を担い、住み慣れた地域でその人らしく生活できるよう支援しています。



クリニック紹介

慈愛会クリニック

充実した患者教育により患者様の支えになる「糖尿病専門クリニック」



七波クリニック

患者様の日常と共に振り返り、個々の生活に合わせた治療を行う「糖尿病専門クリニック」



高麗町クリニック

“第三の医療”…在宅という選択肢を。外来でも入院でもない、自宅での療養を実現する在宅療養支援診療所



かごしま オハナクリニック

Ohana(家族)を思うように、外来での健康維持・増進から、終末期の在宅緩和・看取り医療まで、切れ目のない「かかりつけ機能」を実践

